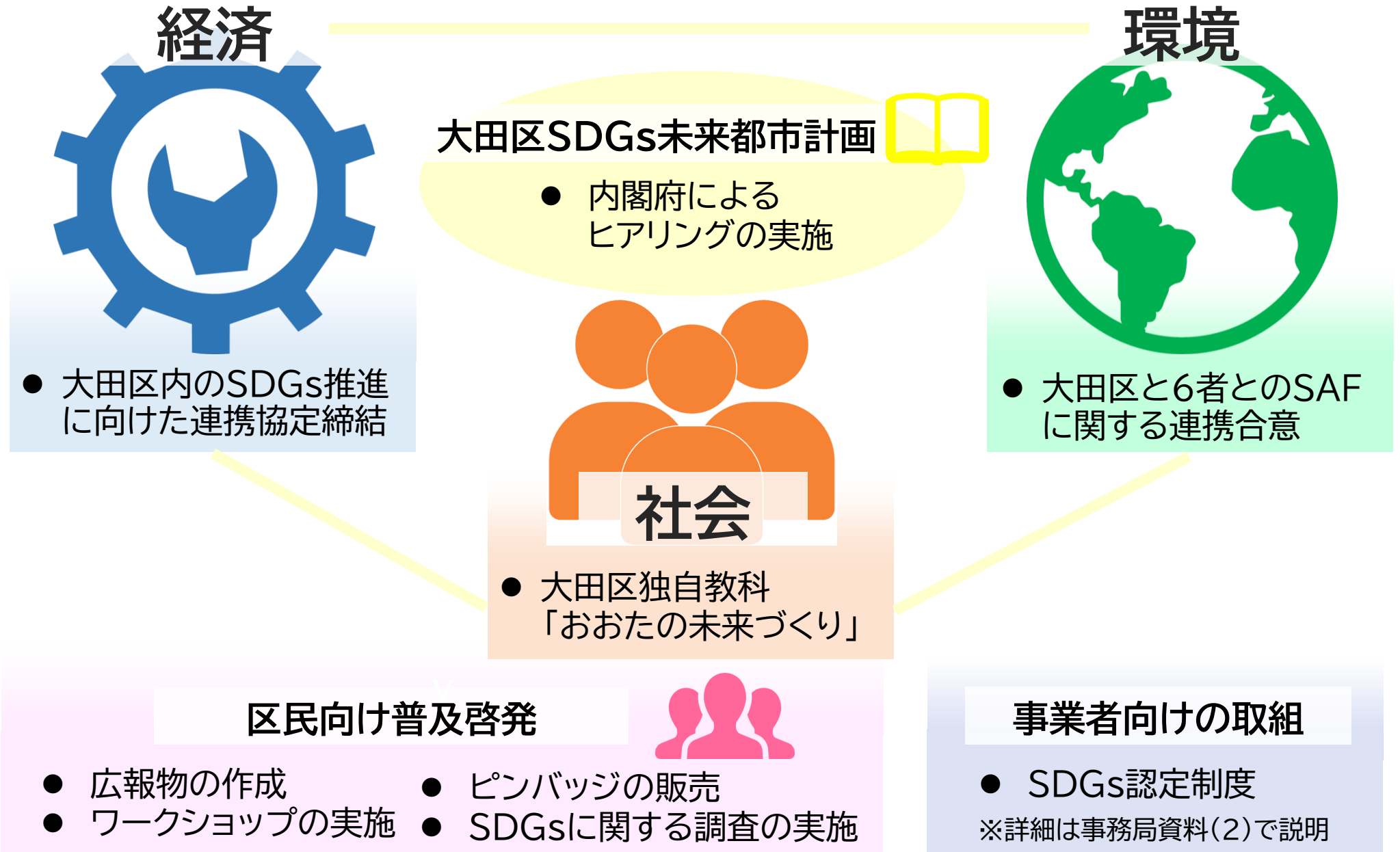


令和6年度 第2回 大田区SDGs推進会議

－事務局資料－

1 SDGs推進に向けた 今年度の取組について

今年度の主な取組



1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

内閣府によるヒアリング

➤ 実施概要

- 日時:10月30日(水) 15:10~15:35
- 進行・実施方法:都市の発表15分+質疑応答10分 オンラインによる実施
- 自治体SDGs推進評価・調査検討会 委員

◎	★	村上 周三	一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター(IBECS)顧問/ 東京大学名誉教授
○		秋山 弘子	東京大学名誉教授/東京大学未来ビジョン研究センター客員教授
	★	蟹江 憲史	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
		浅見 泰司	東京大学大学院工学系研究科教授
		重藤 さわ子	事業構想大学院大学教授
		城山 英明	東京大学大学院法学政治学研究科教授
		神成 淳司	慶應義塾大学環境情報学部教授
		関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所代表取締役
		竹本 和彦	東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員/ 一般社団法人海外環境協力センター理事長
		藤田 壮	東京大学大学院工学系研究科教授

◎:座長 ○:座長代理 ★:質疑応答 大田区担当

1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

内閣府によるヒアリング

▶ 委員からのコメント

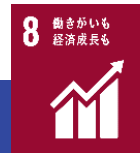
<全体計画(羽田から未来へはばたく おおたSDGs未来都市の実現)～新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市～>について>

- 全体として積極的な取り組みが見られ、大田区のポテンシャル、地場産業を活用し、より活性化する取組であると**高く評価している**。また、今回の進捗評価では、プログラムが着実に進んでいることを確認し、あらためて**全国のモデルになる自治体活性化のプログラムである**と考える。全体的にSDGsとしてのバランスが良く、また、羽田空港との連携やグローバル人材の育成など具体的でもある。
- 羽田空港に近い立地、ものづくり産業の集積、有能な行政など、好条件が揃っており、**着実で多面的な進展がみられる**。企業や学校で人材育成に注力し、町工場でもイノベーションを醸成、地場産業をうまく活用して自治体の活性化を図っている。SDGs未来都市のモデルのひとつとなることを期待する。
- 羽田：**SAFなどのエネルギー問題への取組が大事である**。今後の展開を想定しているということで、期待する。
- HANEDA GLOBAL WINGSの新産業は、**SDGs的な産業という形で絞る必要がある**と思う。一定基準を設けると良いのではないかと考える。
- **製造品出荷額、従業員数等本事業の外生的な要因と、取り組み進捗の相互関連についての説明を期待する**。産業振興についての詳細な評価は高い水準で行われている。

<モデル事業(多様な主体との連携による、持続的なイノベーションモデルの構築)>について>

- 連携拠点(HANEDA GLOBAL WINGS)、SDGsプラットフォームを活用しつつ、5G等イノベーション創出促進、ものづくり人材育成、フード支援ネットワーク等を具体的に進めながら、**企業から区民をネットワークする脱炭素地域の実現を期待する**。
- 実証を次々と取り組まれており、高く評価するが、持続的な発展のためにも、**実証から実装への道筋を着実に進めていただくことを期待する**。

1 SDGs推進に向けた今年度の取組について



【経済】大田区内のSDGs推進に向けた連携協定締結

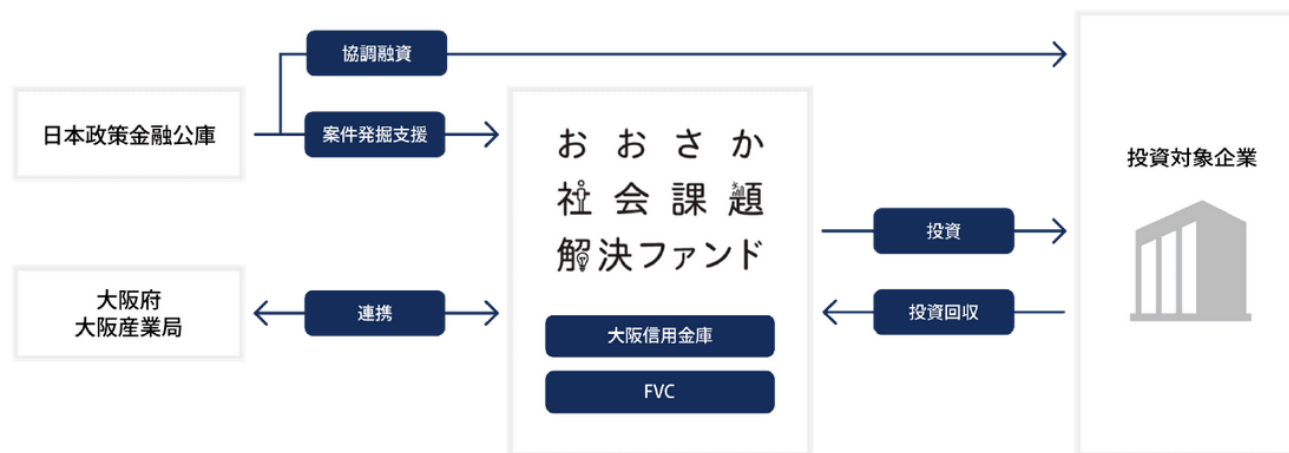
➤ 協定先 大田区 JFC 日本政策金融公庫(大森支店) FUTURE VENTURE CAPITAL

株式会社日本政策金融公庫(大森支店)
フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

➤ 目的
大田区におけるSDGsの推進

➤ 連携事業
第一弾として、SDGs推進を目的としたファンドを組成予定

➤ ファンドの参考例
おおさか社会課題解決ファンド(大阪府×大阪信用金庫×フューチャーベンチャーキャピタル株式会社)



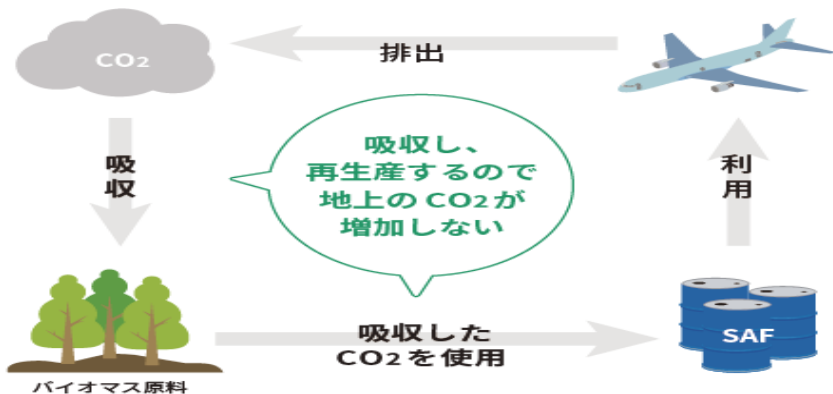
おおさか社会課題解決ファンド
設立：2017年9月 ファンド総額：5億円

おおさか社会課題解決2号ファンド
設立：2022年2月 ファンド総額：5億円

【環境】大田区と6者とのSAFに関する連携合意

羽田空港を擁する大田区が6者と連携し、廃食用油をSAFへリサイクルすることにより脱炭素社会の仕組みの構築及び社会実装を推進

SAFとは…持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel)の頭文字



<SAFの導入促進に向けた国の動向>

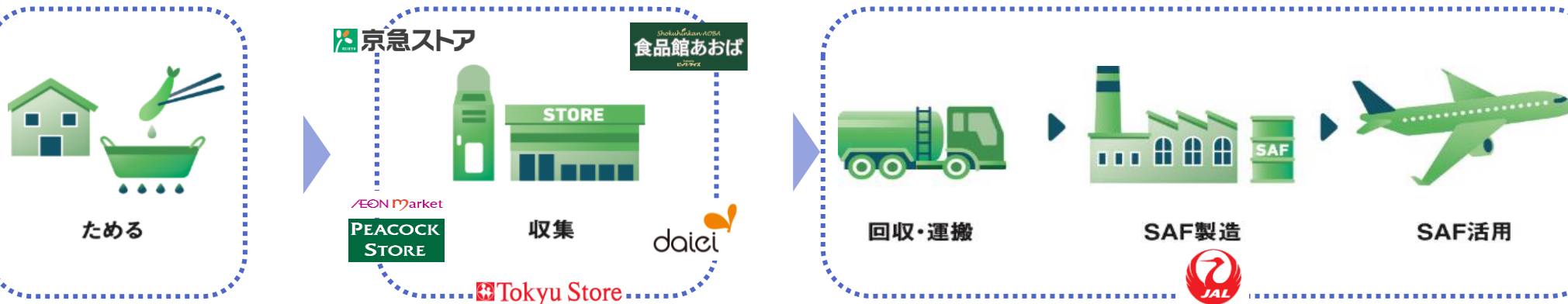
- 2030年時点で「本邦エアラインによる燃料使用の10%をSAFに置き換える」
- 必要十分なSAF原料のサプライチェーン等確保し、安定的にSAFを供給できる体制を構築

SAF回収・取組連携のスキーム



大田区産SAFでフライト!

広報・普及啓発



【社会】大田区独自教科「おおたの未来づくり」

➤ おおたの未来づくりとは

- 令和7年度から実施する大田区独自教科(全小学校5・6年生対象)
- こどもたちの創造的な資質・能力をはぐくむことで、未来を担う人材を育成する
- 地域の企業・学校・団体等と連携し、“地域力”を最大限に活かしたプラットフォームを構築している

大田区人気給食メニュー「たこぺったん」の商品化 (大田区志茂田小学校 × イトーヨーカドー)

- 児童の協力により、本物の味を再現した「たこぺったん」を商品化
- 「たこぺったん」を全国に広めるため、様々な活動を実施(OTAふれあいフェスタ参加、懸垂幕による宣伝等)



➤ グリネル大学との交流・視察

- グリネル大学(アメリカ合衆国アイオワ州)の日本語科准教授より、大田区のSDGsの取組について視察の打診を受ける
- 特に、おおたの未来づくりの「たこぺったん」の取組に興味を持っていたことが交流のきっかけとなる
- 令和6年11月に、志茂田小学校の児童がグリネル大学の学生に「たこぺったん」の取組についてオンラインでプレゼンを実施し、質疑応答等を通して交流を図る
- 令和7年3月は、志茂田小学校児童との交流に加え、区のSDGs、公民連携の取組の説明や、イトーヨーカドーとの意見交換、「たこぺったん」の試食等を区内で実施予定

1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

区民向け普及啓発

01 | 普及啓発に資する広報物の作成

分かりやすくかつ訴求力のあるデザインで、区民の皆様の行動変容を促すようなパンフレットを作成

➤ SDGsパンフレット

大田区の特徴や、区のSDGsの取組と個人でできる取組を紹介



➤ こども向けSDGsパンフレット

主に小学生をターゲットとし、マンガでこどもができる取組を紹介



➤ 活用方法

- ・区HPでの公開
- ・ワークショップでの配布
- ・SDGsおおたスカイパートナー認定事業者への配布
- ・区立小・中学校へデータ配布

区民向け普及啓発

02 | ワークショップの実施

多くの区民の皆様にSDGsに触れていただくために、区内で開催されるイベント等にてワークショップを展開

➤ 大田区ナナハト学校「食品ロスを考える“廃棄野菜でお花アートを描こう！”

内容：廃棄野菜によるオリジナルのお花アートづくり

野菜の切れ端や販売が出来なくなった野菜に絵の具を付けてオリジナルのお花アートを作り、食品ロスについて理解を深め、SDGsの意識を高める

日時：5月25日(土)、26日(日)

場所：イトーヨーカドー大森店

体験者数：310名



➤ OTAふれあいフェスタ「シーグラスアクセサリーづくり」

内容：波や水の中で揉まれ生まれた「シーグラス」を使ったアクセサリーづくり

海に放流されてしまった「海ゴミ」から芸術品を作り、海洋ごみについて理解を深め、SDGsの意識を高める

日時：11月2日(土)、3日(日)

場所：平和の森公園(OTAふれあいフェスタ緑のエリア)

体験者数：185名



1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

区民向け普及啓発

02 | ワークショップの実施

➤ 都営フェスタ2024in浅草線「間伐材とロスフラワーをつかった花電車づくり」

内容：間伐材と廃棄される花を使った工作

杉の間伐材で作った木材の電車の車体に、廃棄されてしまう花や植物（ロスフラワー）、木の実やドライフラワーを飾り、花電車を作製
森林保全やごみ問題について理解を深め、SDGsの意識を高める

日時：11月30日(土)

場所：東京都交通局馬込車両検修場

体験者数：108名



➤ 大田区ナナハト学校「区長になりきって楽しく学ぶ！SDGsカードゲーム」

内容：東京都と連携したワークショップ

来場者が首長になったつもりで施策を選択し組み立てるカードゲーム

日時：10月20日(日)

場所：イトーヨーカドー大森店

カードゲーム参加者数：

115名(大人:47名、こども:68名)

「区長になりきって楽しく学ぶ！
SDGsカードゲーム」
20のみ終日 3F 子供売場側催事場
SDGs 未来都市 大田区
大田区オリジナル SDGsロゴ
東京都主催
カードゲームで
楽しくSDGsを学ぼう



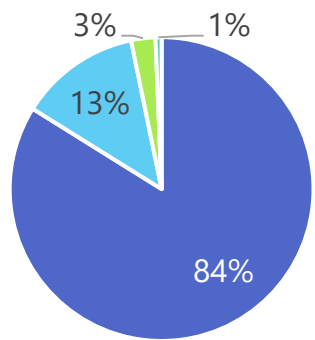
区民向け普及啓発

02 | ワークショップの実施

ワークショップのアンケート結果

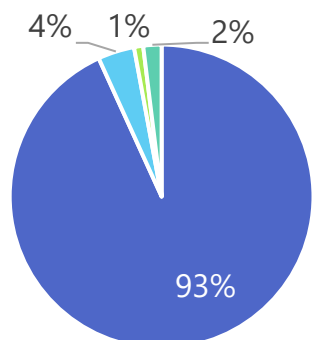
Q: イベントに参加してどうだったか

- 大田区ナナハト学校「食品ロスを考える“廃棄野菜でお花アートを描こう！”」



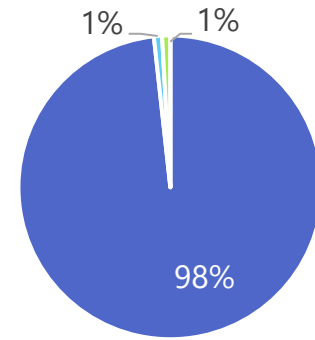
■ よかった ■ まあまあよかった ■ ふつう ■ あまりよくなかった

- 都営フェスタ2024in浅草線「間伐材とロスフラワーをつかった花電車づくり」



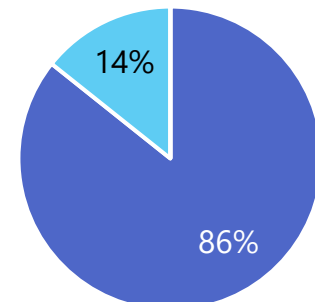
■ よかった ■ まあまあよかった ■ ふつう ■ あまりよくなかった

- OTAふれあいフェスタ「シーグラスアクセサリーづくり」



■ よかった ■ まあまあよかった ■ ふつう ■ あまりよくなかった

- 大田区ナナハト学校「区長になりきって楽しく学ぶ！SDGsカードゲーム」



■ よかった ■ まあよかった ■ ふつう ■ あまりよくなかった

1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

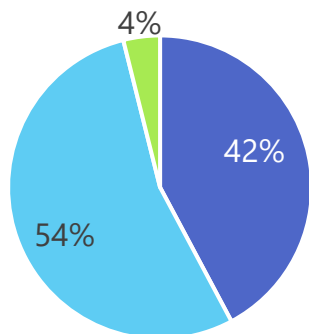
区民向け普及啓発

02 | ワークショップの実施

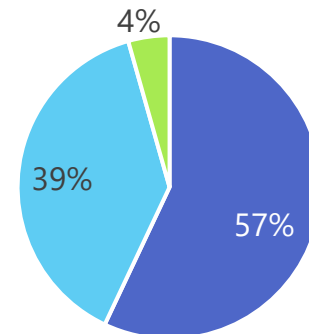
ワークショップのアンケート結果

Q: イベントに参加してSDGsまたは廃棄野菜問題/海洋ごみ/ロスフラワー、間伐材等について考えるようになると思うか

- 大田区ナナハト学校「食品ロスを考える“廃棄野菜でお花アートを描こう!”」
- OTAふれあいフェスタ「シーグラスアクセサリーづくり」

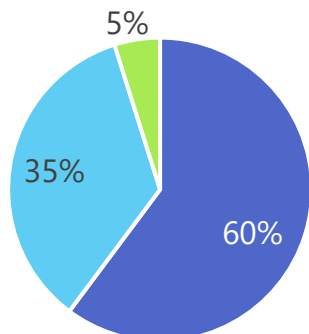


■ なると思う ■ 少しなると思う ■ ならないと思う



■ なると思う ■ 少しなると思う ■ ならないと思う

- 都営フェスタ2024in浅草線「間伐材とロスフラワーをつかった花電車づくり」



■ なると思う ■ 少しなると思う ■ ならないと思う

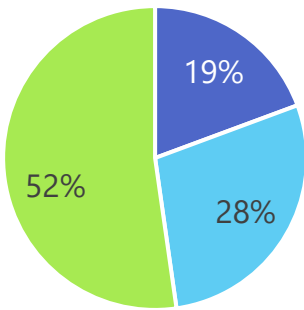
区民向け普及啓発

02 | ワークショップの実施

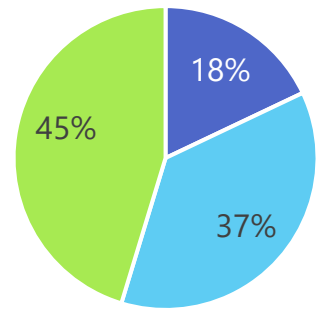
ワークショップのアンケート結果

Q:大田区が2023年度の「SDGs未来都市」に選定されたことを知っていたか

- 大田区ナナハト学校「食品ロスを考える“廃棄野菜でお花アートを描こう！”
- OTAふれあいフェスタ「シーグラスアクセサリーづくり」

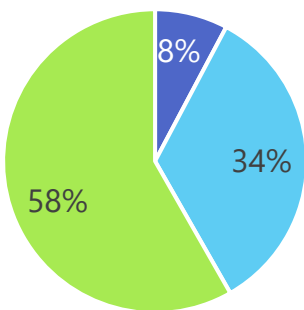


■ 知っていた ■ イベントで知った ■ 知らなかった



■ 知っていた ■ イベントで知った ■ 知らなかった

- 都営フェスタ2024in浅草線「間伐材とロスフラワーをつかった花電車づくり」



■ 知っていた ■ イベントで知った ■ 知らなかった

1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

区民向け普及啓発

02 | ワークショップの実施

➤ ワークショップの総括

- 4回で計718人が体験
- ワークショップについて、約98%が好意的な回答となっている
- ワークショップがSDGsや様々な問題(廃棄野菜、海洋ごみ、ロスフラワー等)について考えるきっかけになると回答した割合は約95%となっている
- 「大田区がSDGs未来都市に選定されたことを知っていた」割合は全イベントで20%以下と低い一方、イベントを通じて知った人は約30%となっている



1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

区民向け普及啓発

03 | ピンバッジの販売

▶ 大田区オリジナルSDGsロゴマークピンバッジ

販売開始日:令和6年6月10日

販売場所: 大田区役所本庁舎2階 区政情報コーナー
各特別出張所

販売価格: 300円

素材: 間伐材や廃材等をもとにしてつくられた「MDFウッド素材」を使用

販売数: 71個(12月末時点)



▶ はねぴょん・大田区オリジナルSDGsロゴマークピンバッジ

販売開始日: 令和6年8月5日

販売場所: 大田区役所本庁舎2階 区政情報コーナー
各特別出張所

販売価格: 500円

素材: 間伐材や廃材等をもとにしてつくられた「MDFウッド素材」を使用

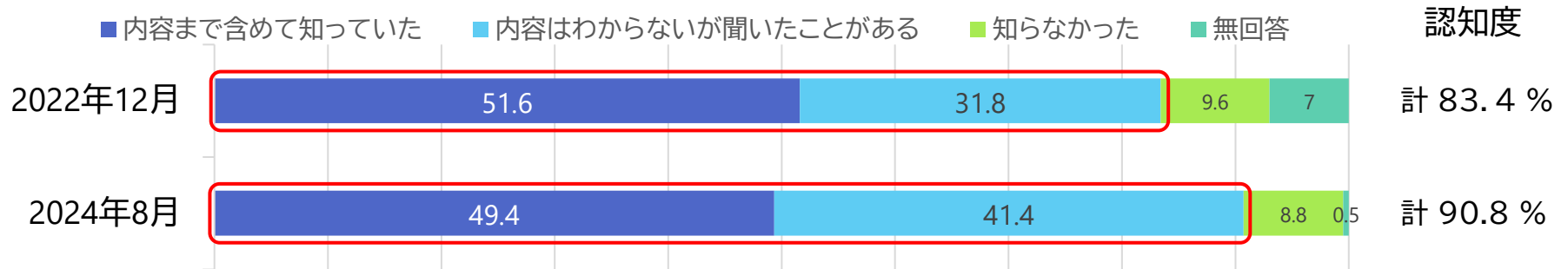
販売数: 48個(12月末時点)



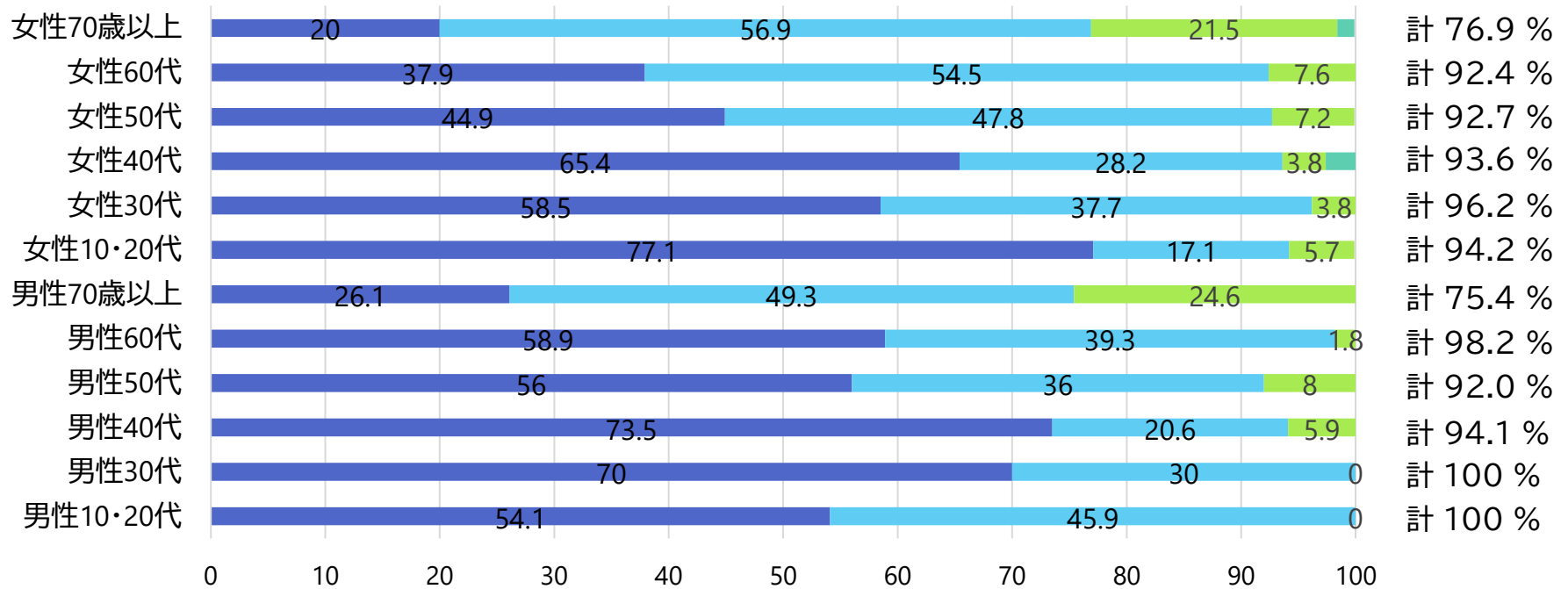
1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

SDGsに関する調査の実施

Q: SDGsについて知っていましたか。



【年代別結果】(2024年8月)



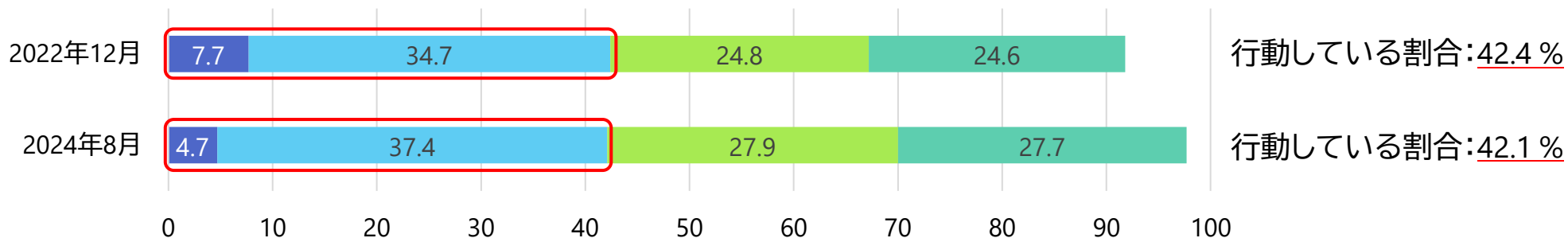
©出典 2022年12月:区の現状把握及び課題抽出のためのアンケート調査
2024年8月:区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

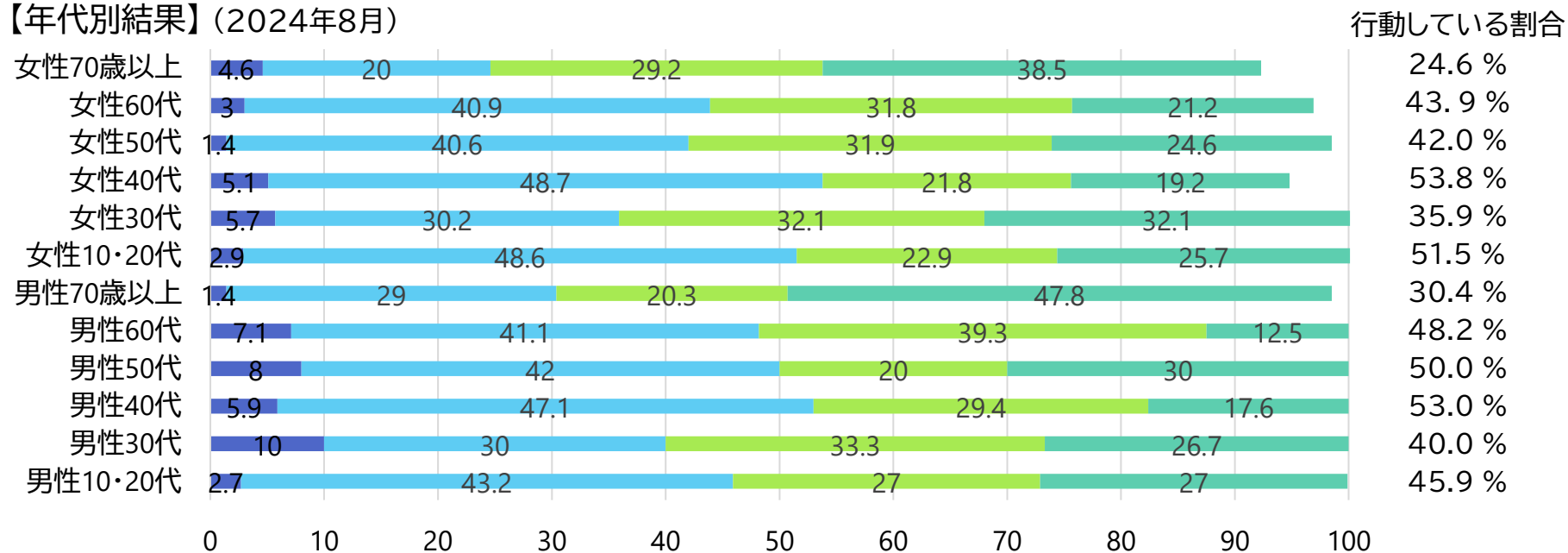
SDGsに関する調査の実施

Q: SDGsに関する意識と行動についてご回答ください。(1つのみ)

- 日頃からSDGsを意識した行動をしている
- SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている
- SDGsを意識しているが、特に行動はしていない
- SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない



【年代別結果】(2024年8月)



©出典 2022年12月:区の現状把握及び課題抽出のためのアンケート調査
2024年8月:区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

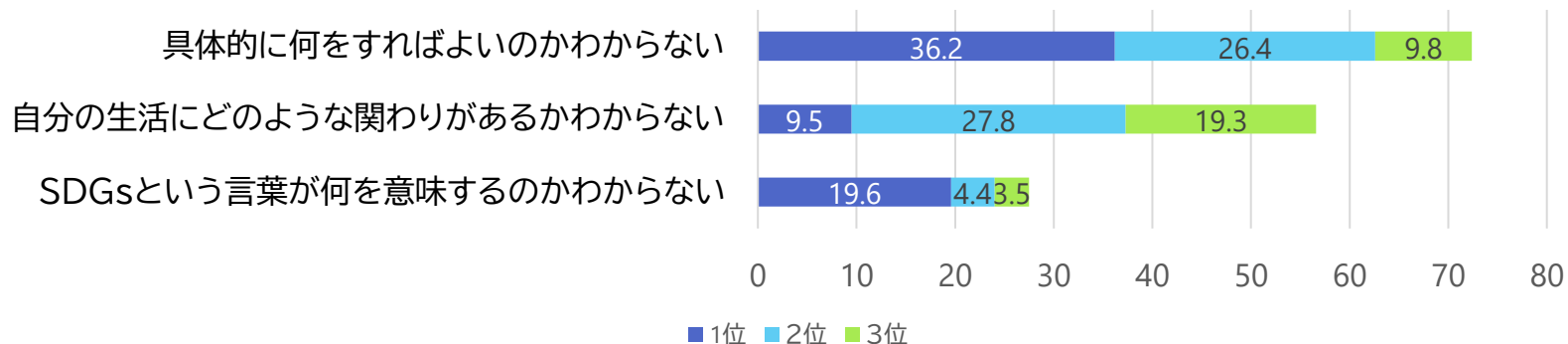
1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

SDGsに関する調査の実施

Q: SDGsに関する行動をしていない理由についてご回答ください。

(より大きい理由を、最大3位まで選び、番号をご記入ください)

【2024年8月】

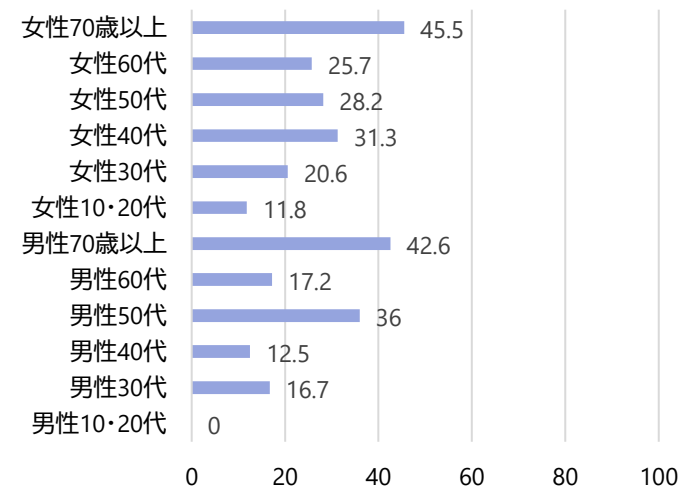
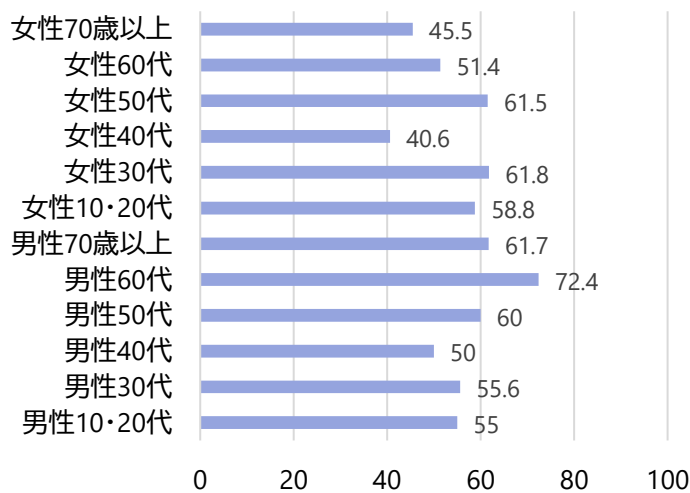
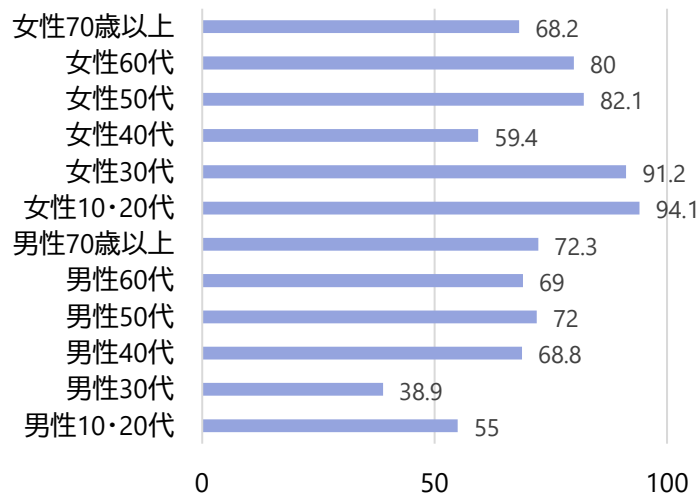


【年代別結果】1位～3位総合 (2024年8月)

具体的に何をすればよいのかわからない

自分の生活にどのような関わりがあるかわからない

SDGsという言葉が何を意味するのかわからない



1 SDGs推進に向けた今年度の取組について

SDGsに関する調査の実施

➤ 調査結果のまとめ

- SDGs認知度は、前回調査を上回り、**90%以上**となった
- 一方で、**内容まで含めて知っていた割合**は前を下回り、**50%未満**となった
- 年代別で見ると、男女ともに**70歳以上の認知度が80%未満**となり、他の年代を下回っている
- **SDGsを意識した行動をしている割合**は、前回とほぼ変わらず、**約42%**となった
- SDGsに関する行動をしていない理由としては、「**具体的に何をすればよいかわからない**」が一番多い

➤ 課題

- ① 70歳以上の認知度が80%未満であり、**高齢者層への普及が遅れている**
- ② SDGsを意識した行動をしている割合が4割程度と低く、**SDGsを認知していても行動に反映されていない**
- ③ 「具体的に何をすればよいかわからない」方が多く、**SDGsを意識した行動の周知が必要**

➤ 今後の方向性

- **高齢者が多い場**でのSDGsの普及啓発や、**年齢を限定しない区民向けワークショップ**を実施し、SDGsについて考えるきっかけをつくる (課題①)
- 個人でできる取組を記載した**SDGsパンフレット**を活用する (課題②・③)
- より深くSDGsについて学べる機会を提供するために、**体験型ワークショップの実施を検討**する (課題②・③)



意見交換のポイント

■ 今年度実施した取組についてのご意見

➤ 今年度実施した取組の例

- ・ 【経済】大田区内のSDGs推進に向けた連携協定締結
- ・ 【環境】大田区と6者とのSAFに関する連携合意
- ・ 【社会】大田区独自教科「おおたの未来づくり」
- ・ 広報物の作成
- ・ ワークショップの実施

■ SDGsに関する調査で得られた課題や今後の方向性に関するご意見

➤ 課題

- ・ 高齢者層への普及
- ・ SDGsを認知していても行動に反映されていない
- ・ SDGsを意識した行動の周知